

寒い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？山口県内でもインフルエンザが猛威を振るっていますので、ご注意ください。外出後は、手洗い、うがいを行い、予防に努めましょう。



医療安全・臨床倫理テュートリアルを実施しました。【4年生対象】

12月8日～12月21日にかけて医療安全・臨床倫理テュートリアルを実施しました。臨床倫理テュートリアルでは、日常の臨床現場において、医療専門職の提案する治療方針と患者やその家族の意向にズレが生じた場合等に代表される倫理的課題について、背景要因や問題点を整理し、医療の提供者と利用者の中で交渉・調整を試みながら、双方が納得できるような最善かつ現実的な解決を模索します。生命倫理的アプローチ法を修得し、困難な事例を題材として医学的課題、生命・生活の質、自律、社会的側面からの分析を通して、解決への道筋を探る能力を修得することを学習目標としています。各診療科の教員が実際の臨床で経験された事例を基にした事例課題について取り組みました。どの班も各事例課題について様々な角度から検討し、考察を深めることができたのではないのでしょうか。



自己開発コース報告会を実施しました。【2, 3年生対象】

1月15日、1月16日の2日間にわたり、自己開発コース報告会を実施しました。発表5分、質疑応答1分というスケジュールで、1日あたり62人ずつ発表しました。時間が超過した学生も何人かいましたが、どの発表もしっかり準備し、発表本番に臨んだ様子が伺えました。また、例年通り、2年生も自己開発コース報告会に参加しましたが、1年後の報告会をイメージできたのではないのでしょうか。今年から評価表にルーブリック評価を導入しました。評価項目は、内容(発表内容は、十分に調べられており、よく理解できている)、構成(理解しやすい順序で構成されており、ポイントも強調されている)、表現(発表内容の理解を助ける視覚的工夫(図表、写真等)があり、文字は読みやすい)、時間(発表は規定時間内に終わり、時間配分も適切である)、質疑応答(質問を正確に理解し、的を得た応答をし、応答は誠意を持ち、建設的である)の5項目で、それぞれについて4段階評価を担当の先生方に行って頂きました。

自己開発コース報告会および修学論文の提出をもって、昨年7月から約半年間取り組んだ自己開発コース・修学論文テュートリアルを無事終了することができました。ご担当頂きました各講座の先生方、どうも有難うございました。



プレ臨床実習チュートリアルを実施しました。【4年生対象】

1月9日～26日の3週間、プレ臨床実習チュートリアルが実施されました。プレ臨床実習チュートリアルは、広く臨床医学を理解し、患者中心の医療を実践できるようになるために具体的な臨床例から問題点や課題を発見してそれらを解決するための学習方法を修得し、自発的に医学を学ぶ習慣を身につけることを学習目標としています。1週目のプレ臨床実習チュートリアルでは、小児科、産科婦人科、麻酔・蘇生科の先生方が作成されたシナリオに取り組み、2週目のプレ臨床実習チュートリアルでは、救急医学、整形外科、眼科の先生方が作成されたシナリオに取り組みました。初日はシナリオから問題点や課題を抽出するのが不十分な班もありましたが、日を追うごとに改善され、抽出された問題点や課題を整理し、意見や討論も活発になっていきました。学生発表とユニット総括講義が行われましたが、どの班からも抽出された問題点や課題について幅広く調べ、考察して発表の準備を行った様子が伺えました。また、この期間中に合わせて、学外臨床実習病院の見学や大学病院の多職種連携見学実習も行われました。



白衣着衣式を挙行！【4年生対象】

2月から臨床実習が始まる医学科4年生に白衣を贈る白衣着衣式が1月26日に開催されました。白衣着衣式は、これまで講義と実習で学んできた学生が臨床実習に入る前に行う節目の儀式です。式では、スチューデントドクターの認定書と山口大学のロゴが入った白衣が渡されました。谷澤医学部長、福本霜仁会会長、杉野病院長から代表の学生に白衣が着せられ、それに合わせて他の学生も白衣に袖を通しました。代表の加藤幸多君が、「白衣を頂いた責任を胸に日々精進し、常に患者さんと向き合い、患者さんと信頼関係を築き、地域社会に貢献する医師を目指します」と宣誓し、学生は皆、真新しい白衣に身を包み、2月から始まる臨床実習に向けて決意を新たにしていました。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp